



TITLE:

故松岡孝兒博士略歴・主要著書論文目録

AUTHOR(S):

CITATION:

故松岡孝兒博士略歴・主要著書論文目録. 經濟論叢 1957, 79(3): 266-269

ISSUE DATE:

1957-03

URL:

<https://doi.org/10.14989/132525>

RIGHT:

經濟論叢

第七十九卷 第三號

故 谷口吉彦博士、故 松岡孝兒博士遺影ならびに署名

觀光税の問題点……………	神 戸 正 雄	1
米国外投資の成熟と停滞……………	岡 田 賢 一	14
財政学と国家認識……………	斎 藤 博	37
故 谷口吉彦博士略歴・主要著書論文目録……………		55
追憶文 (石川興二・松井 潜・河野健二)		
故 松岡孝兒博士略歴・主要著書論文目録……………		69
追憶文 (中川与之助・中谷 実・酒井一夫)		

昭和三十三年三月

京都大學經濟學會

昭和十四年二月 著書「金為替本位制の研究」により経済学博士の学位を受く

昭和十四年十一月 召集解除

昭和十五年一月 京都帝国大学教授

昭和二十一年五月 依願免本官

なお、京都帝国大学在任中しばしば満支へ出張す。

昭和二十一年九月 教職員不適格者に指定さる。

昭和二十六年六月 教職員不適格の指定を解除さる。

昭和二十七年四月 丸紅（大阪）商店調査室長

昭和二十八年七月 北海道大学教授

昭和三十一年十二月 京都大学附属医院において死去
享年六十三。

故松岡孝児博士略歴

明治二十六年十一月十六日 神奈川県横浜須賀市に生る

大正三年五月 陸軍士官学校卒業

大正三年十二月 陸軍歩兵少尉

大正五年四月 東京外国語学校仏語科入学

大正七年三月 同校卒業

大正八年九月 京都帝国大学経済学部入学

大正十二年三月 経済学士試験合格

大正十二年五月 京都帝国大学経済学部助手

昭和三年四月 京都帝国大学経済学部講師

昭和九年二月 京都帝国大学助教授

昭和十二年十月 応召

昭和十三年九月 陸軍歩兵中尉

故松岡博士主要著書論文目録

著 訳 書

ラコム著景気予測法の研究（訳）南北書院

金問題研究 有斐閣

金為替本位制の研究 日本評論社

アルベユル・アフタリヨン著 有斐閣

貨幣・物価・為替論（訳）三ハ

発行所 刊行年月

昭和六五

八三

二六

三八

Fräion de change or au Japon	日 休 協 会	昭 四 一
アンダー・ニ・ア・ティニ著	三 省 堂	六 七
戦争経済学 (訳)		
Les Grands penseurs français	白 水 社	六 四
Saint-Simon, Fourier, Louis		
Blanc 編集		
ジャン・フラスチニ著		
一九六〇年の世界 (訳)		
アルフレッド・ソーグワイ著		
経済観測 (訳)		
シャルル・ローブガン著岡田徳一	有 斐 閣	三 九
共訳		
仏印経済発展論		
アンドレ・トウゼー著		
印度支那貨幣制度の研究 (訳)	掲 載 誌	三 五
	經 濟 論 叢	六 二
大正十三年		
パント氏を憶う		
大正十四年		
パンタレオニ氏業績の回顧		
大正十五年		
合衆国における労働銀行につ		
いて		
昭和二年		
伊太利のリラ貨引上策に		
ついて		
パンタレオニ氏と経済学基礎		
概念		
昭和三年		

	貨幣数量説への一考察	昭 四 一
	ベルギー国立銀行の改正	六 七
	イタリヤに於ける貯蓄銀行	六 四
	制度改正に就いて	
昭和四年		
	フランスの新貨幣制度に就いて	七 二
	ギリシャの新発行銀行に就いて	元 九
	軌近フランス経済学界の傾向	
昭和五年		
	フランスに於ける庶民銀行に	三 九
	就いて	
昭和六年		
	フランスに於ける景気変動予測論	三 五
	金を總ぐる英仏の論争	
	金問題批判	六 二
	金数量説に就いて	二 一
	金問題と国際連盟	
	景気変動の型より見たる	三 三
	独逸の失業	三 三
昭和七年		
	貨幣価値安定より見たる	三 四
	クレヂットに就いて	三 四
	歴史的発展に於いて見たる	
	世界不況	
	世界不況対策としての国際	
	貸付銀行案	三 四
	経済論叢	七 二
	経済論叢	七 三
	経済と経済	七 五
	経営と経済	七 六
	経営と経済	七 七
	経営と経済	七 八
	経営と経済	七 九
	経営と経済	八 〇
	経営と経済	八 一
	経営と経済	八 二
	経営と経済	八 三
	経営と経済	八 四
	経営と経済	八 五
	経営と経済	八 六
	経営と経済	八 七
	経営と経済	八 八
	経営と経済	八 九
	経営と経済	九 〇
	経営と経済	九 一
	経営と経済	九 二
	経営と経済	九 三
	経営と経済	九 四
	経営と経済	九 五
	経営と経済	九 六
	経営と経済	九 七
	経営と経済	九 八
	経営と経済	九 九
	経営と経済	一 〇 〇

ボ
化論
オル・ペルナアルの仏印工業
に於ける信用と其の性格

昭和十七年

仏印國際貸借に関する一考察
最近仏印幣制に於ける二つの
就いてに於ける信用政策に・

就いてに於ける貯蓄及資本に

ヤガエタ・トル・ピルウの仏印と

最近に於ける仏印經濟の再

編成に於ける協同組合に就

いてに於ける協同組合に就
再組織下にある最近仏印經濟

昭和十九年

最近仏印ビヤストルの動向に

昭和二十四年

新金為替本位制から見たボ
下切

昭和二十五年

金の再評價と世界經濟

最近に於ける世界金問題

救済についての一考察

インフレーションの一考察

〃 東亞經濟叢 一 四

經濟論叢 五 一

改革東亞經濟論叢 二 一

經濟論叢 五 五

〃 五 一

日仏文化

經濟論叢 五 五

東亞經濟論叢 二 三

〃 二 四

日仏文化

國民經濟 四 二

〃 五 四

ペンギン 三 五

〃 六

銀行及金融 二

最近における世界金問題

銀行及金融 六

昭和三十一年

所得説と數量説の異同
— アタリヨンを中心と
して —

ペンギン 六

KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC REVIEW

(京都大學經濟學部英文紀要)

On the Quantity Theory of Gold Vol. 9 No. 1 1934

Early History of the Gold Exchange

Standard in Japan Vol. 10 No. 2 1935

China's Currency Reform and its

Significance Vol. 11 No. 1 1936

On Japanese Currencies Circulating

in North China Vol. 12 No. 1 1937

The Expansion and Consolidation of

the Japanese Gold Exchange

Standard System Vol. 12 No. 2 1937

The Inflation of Chinese Legal

Tender Vol. 16 No. 2 1941

The Currency System in French

Indo-China Vol. 17 No. 2 1942

Southern Economy: Its Currency

and Financial Problems Vol. 17 No. 4 1942